

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372400248		
法人名	医療法人 宏友会		
事業所名	グループホーム元気村Ⅱ		
所在地	愛知県半田市浜田町3-10-5		
自己評価作成日	平成21年10月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在の場所へ移転以降、アセスメントやケアプランの策定・評価には、十分に力をいれている。アセスメントでは、センター方式を用いたアセスメントチーム(4名)からあらゆる角度で利用者様の立場に立ったプランを作れるようにしており、評価では一ヶ月毎に定期的に取り組み、柔軟な対応ができるようにしている。6ヶ月に一度家族懇談会を開き、利用者様とご家族またはご家族同士に交流の機会を設けている。2ヶ月毎の運営推進会議では、アンケートを基に運営方法の転換や事故内容の報告など開かれた施設を目指している。基本的な介護面としては、3大介護を重点的に行っている。排泄では、一人ひとりに合わせた誘導・介助方法で対応し、入浴では1日おきの人から毎日の人と、食事は、食事形態も柔軟に対応できるなど一人ひとりの利用者様に合った方法で個別的に取り組んでいる。工業地帯という立地条件ではあるが、隣のショッピングセンターを活かし、散歩しつづ買い物に出掛けられる特色も出せている。その人らしい生活をしていただけるよう、その人のペースを大切に、理解して思いを共有できる様に行動をなるべく束縛せず、自由に過ごしてもらえよう日々職員同士、上司と話し合いながら取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点	
-------------------------	--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・職員の目に付くところに理念を掲示してある ・理念は独自の「ゆったり自由に笑って過ごせるように」というもとの共有して実践している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域との関わりは殆どない ・2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、回りの商業地域で住宅などないがなるべく交流している ・日常的な買い物、行事、レクリエーションでの外出などで地元に出かける機会をも作り交流を図っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・運営推進会議を通じて認知症の方の理解や支援をしていただけているようにしている ・そういう取り組みは行っていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・参加者は限られるがそういう内容で行われているとおもう ・会議の準備を職員が行い、またミーティングの際にその情報を共有するなどしている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・運営推進会議時に市の担当者を招いている ・介護保険課の方と話をしたり情報交換したりしている ・代表者が行っていると思う		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・どうしてもやむを得ない場合に限り、ご家族の了解を得て施錠など行う事もある ・身体拘束をしないケアを目指している ・転倒、怪我等の危険がない限り自由に過ごして頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・常に利用者様の身体状態を注意して観察し、また表情や様子から感じ取るようにしている ・利用者様の身体の様子に常に注意を払い喜になる事は報告、連絡をしっかりとっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・理解する努力はしているが実践の機械がない ・わからない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所よりご家族や本人とコミュニケーションを図り何を望んで何が不安なのコアをお聞きし、解決していくようにしている。 ・ケアマネ、代表者が主に行っており、そこでの話し合いが一般職員に充分伝わらず家族とのトラブルになる事もある		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会開催時にお話や意見を伺う、直接ご家族から要望など出てきたときにはミーティングなどで共有している ・家族会、運営推進会議を定期的に行っている ・家族会を行ったり、意見箱が設置してあるので、ご意見が出たときは話し合っている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・直接意見を言って反映、改善される事もあるが、長期にわたって意見、要望を出してもなかなかよくなることある(特に設備面) ・毎月のミーティングで末端の職員でも意見や提案ができる機会をもうけてもらっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・自己評価が半年に一度ある ・時々個人面談があり皆が不安なくやりがいを感じながら勤務できるようにしてもらっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員が互いに注意し合い少しでも向上できるように努力している ・法人内外の研修案内については書面で伝えられている。参加は個人の自由 ・法人内のものについては全員参加が前提		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・法人内で交流会や他事業所の方を呼んで勉強会などを行っている		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・できるだけ傾聴の時間を作る努力を行っている ・ご家族に密に連絡を取り、負担を減らし安心していただける様している ・代表者やケアマネによって行われていると思う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・来所の折、できるだけ会話ができるように心掛けているがお会いできる日が少ない ・密に連絡を取り、ご家族の負担を減らし安心していただけるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・できるだけ、ご家族のお話を聞いて支援に役立てるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・生活する中で色々なお話を伺い学ぶ事も多い ・職員全員が利用者様とのコミュニケーションに努めている ・利用者様から職員が本当の家族のように感じてもらえるよう努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族の絆を大切にしながら本人を支えている関係を築いている。 ・家族会や来所の折に日頃の様子をお伝えしたり要望を伺ったりしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人、ご家族の要望に沿う様に配慮している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・個々の性格や周りとの関わりと見極めながらなじみの関係が出来、居心地のいい場所となるよう支援している ・利用者様同士の関係を把握しており、日々の交流の中で関係を築いている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・その後の利用者様の経過をご家族からお聞きしたりまた、相談に乗るようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・職員が意思把握に努め、申し送りやミーティング等で共有している ・日頃から要望意見など伺い、ケアプラン・マンスリーに取り入れている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・情報提供に目を通しながらご本人からの聞き取りなどにも力を入れている ・アセスメントにより把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝夕の申し送りで、前日までの様子や状態を共有している。またアセスメントやマンスリーで長期的な変化も把握するようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・担当者がマンスリーを作成し、他の職員とミーティング等で話し合っている ・家族の方の意見をもらい同意している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・カルテ、職員間の連絡ノート、日誌等を活用し誰もが閲覧できるようにしている ・日頃の行動等見守りながら観察し職員間の情報交換等を活かしたケアの実践を行っている ・申し送りを確実にするためにノートを種別ごとに分けもれがないよう情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・リハビリ、シニアフィットネス、医療の一部はすぐに受けられる体制である		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・よくわからない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・週一回の往診、たま付属の病院との連携を密にしている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・突発的状態の変化があったときには相談し、往診に同席してもらい日々の状態も把握してもらっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・薬剤情報やそれまでの経過など書面にしてお渡しし何かあれば連絡する。また退院時サマリーなどで情報交換している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・看取りなどについて書面で定期的に家族へ説明確認をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・マニュアルがあるので目を通すようにしている ・定期的に災害などの訓練や急変時などのマニュアルや情報を取り入れ実践できるようにしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・定期的に消防検査や訓練とし、またマニュアルを作り状況に応じた災害対策を話し合い想定した訓練を行っている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人の人間として尊重するよう努めている ・接遇の大切さを理解し、それに沿うように努力している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・事によっては自己決定できるようなこともあるが、実現不可能な事も多い		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一人ひとりの生活パターンを重視した上で言葉掛けを行っている ・その人らしい生活をしていただくためにマイペースで暮らしていただくように職員同士で話し合い実行していくようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご本人の希望の服や髪型をできるように努めている ・意思表示できる方についてはやれているのではないと思う		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・おやつや準備や食事の片付け等職員と共に行っていただいている また、食事を一緒に摂っている ・変色、アレルギーなどには対応		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事の形態を工夫し、事故なく無理なく召し上がっていただけるようにしている。食べられないものは代替食をご用意している ・飲み物を好みで選んでいただいたりしている ・水分、食事量のチェックをしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後、口腔ケアをし清潔を保つようしている また、週一回容器の消毒、ポリドントなどを行っている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・数時間毎にお声掛けし、失禁無くすよう努めている 下着の形態も状態によって変えている。 ・残存機能を活かし、排泄のチェックによりパターンを掴み自立に向けた支援に努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・排便の状況を把握しながら食物や飲み物摂取での様子見や便秘薬の調整等を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・日、時間は決まっているものの、ご本人の希望があれば入浴していただいている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・居室にいつでも出入り自由であり、好きな時に入室できる。寝具の背欠に努め時々布団干しを行っている ・リビング内、目の届く場所にベッドを設けており必要な方に休息をしていただくようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・週一回の往診時に薬の変化は理解できるように必ず「なぜか？」をお聞きしている。また日々の体調変化を見逃さないようにしている ・服薬前の名前や日付の確認、体調を見ながらの服薬、中止を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・利用者様の各人に得意分野で、お手伝いしていただき、感謝の言葉を掛けるようにしている ・その人その人の残存機能を活かしやりがいのある生きがいが持てるよう楽しみや役割などしていただいている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・買い物など天気の良い日には、一緒に行っていただいている。年に一度のスペシャルDAYにて利用者様の希望をお聞きして実施している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・何かほしいものや行きたい所があれば、ご家族に相談しつつ希望をかなえて差し上げるようにしている ・人によっては自分で管理している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望があれば行えるようになっている ・電話したい旨の申し出があれば電話を使用していただいている、携帯を利用されている方もいる		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・毎日清掃を行い、また、業者のサービスを利用している。壁にはカレンダーや写真を飾り季節毎に変えている ・充分でないところが多い ・建物が古く修理不能で利用しづらいままであるところが多い		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・それぞれに自分にあった自由な過ごし方をされている ・置、ソファなどの空間も配置して居場所づくりをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室にはご本人が使い慣れた馴染みのものや寝具などを置いていただける事を家族にも伝え少しでも落ち着いて過ごせるようにしている ・ご家族の考え方、関わり方によって居室の状況には大きな差がある 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた病院跡という空間を工夫しながら使用している 安全面使用面では改善したいところはある ・危険なところや修理改善が必要なところなどを伝えて安心して暮らせるようにしている ・環境整備担当も月々に話をしている 		